

令和7年9月定例会議 一般質問

5番議員 武井 正広

子育て支援・子育て環境のさらなる充実策について問う

子育て支援は未来への投資であり、少子化が進行する中、自治体の存続にも関わる極めて重要な施策と考える。

本町では、様々子育て支援を行っているが、近年では、共働き家庭の増加や育児休業制度の浸透により夫婦共にキャリアを継続していく中で、0～2歳児の保育ニーズは年々高まっている。今後、さらに需要は増加が見込まれる一方、物価高騰などにより保育料の家庭負担が深刻化している。東京都は今年より第1子から0～2歳保育の完全無償化を実施している。県内においては、多子世帯支援として第2子以降の保育料無償化を導入している自治体も見られる。本町でも「子育てするなら開成町」となるよう将来を見据え保育の受け入れ態勢も含め、柔軟に検討していく必要があるのではないかと考える。

さらに、最近の夏の酷暑により子ども達の屋外での遊びが難しい中、子どもの健全な育ちを支えるため、屋内での遊び場・居場所づくりも必要と考え、次の点について問う。

- 1 今後の本町の保育需要及び開成幼稚園の園児数の見通しは。
- 2 0～2歳児保育に対しての多子世帯支援は。
- 3 屋内での遊び場・居場所づくりについての考えは。